

=====

◆□◆◆□ 群馬産業保健推進センター メルマガ第13号 ◆□◆◆□
□◆□◆□ ホームページ <http://www.gummasanpo.jp/> □◆□◆□

=====

このメールマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された
新着情報や産業保健関連情報等を配信しますので、是非お読み下さい。

--<群馬産業保健推進センターからのお知らせ>-----

明けましておめでとうございます。

本年も皆様のご要望に応えるべく、産業保健等に関するタイムリーな情報提供に努めて
参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

1 派遣労働者、有期契約労働者等の雇用管理の適正化等について

世界的な金融危機に端を発した経済情勢の悪化等の影響により、派遣労働者や有期契約労働者等を中心に雇用調整のため解雇や雇止めが行われ大きな社会的問題となる中、雇用管理の適正化等を図るため、厚生労働省は相次いで通達を発出し公表しております。詳細は下記厚生労働省ホームページでご覧いただけます。

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/12/h1209-1.html>

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/12/h1210-3.html>

2 群馬衛生管理者協議会通常総会・第6回衛生管理者交流会開催される

11月25日（火）午後1時30分より前橋テルサにおいて、平成20年度群馬衛生管理者協議会通常総会が開催され、この1年の活動報告、向こう1年の活動計画、役員改選などが審議・承認された。同協議会は創立7年目を迎えたが、産業保健の向上を担う中核スタッフの集団として、近年における職域での過重労働・メンタルヘルス対策、本年4月に施行された特定健康診査・特定保健指導に基づくメタボリックシンドローム対策など、労働環境の整備や生活習慣改善の啓発等に的確に対応していくことが望まれる。

通常総会に引き続いて、第6回衛生管理者交流会が開催され、産業保健相談員（カウンセリング分野）の沼澤相談員に助言者として、また、行政関係者にはオブザーバーとして参加を頂き、6テーマ（職場のメンタルヘルス対策（予防対策）（2班）、同（不調者対策）（1班）、同（職場復帰対策）（2班）、職場巡視（1班）、職場における衛生管理者の役割（衛生委員会の活性化）（1班）、健康診断結果の保健指導（1班）の8班に分かれて班別討議を行い、各班の代表者から討議結果を発表して貰いました。

各班代表者からの討議結果の発表概要は次のとおりです。

- ① 早期気づきと声掛け（日頃のコミュニケーションを通じ、信頼関係の構築大切）
- ② 不調者に対する相談・対応窓口の一元化

- ③ 情報の共有と職場の理解（主治医と不調者の面談への産業保健スタッフの立会い等）
- ④ 衛生委員会では具体的問題の審議（トップに言い難いことも）
- ⑤ 職場復帰と再発対応（原因の背景様々、個別対応の難しさ）
- ⑥ 衛生委員会の前に職場巡視（管理職同行）
- ⑦ 職場巡視の視点（ポイント分かると：中災防の災害事例、体験学習、過去の巡視記録など参考）
- ⑧ 職場巡視における外部専門家の活用
- ⑨ 職場巡視における重点絞込み
- ⑩ 健康意識の高揚と特定保健指導（行動変容：ウォーキングなど身近にできることから）
- ⑪ 健康意識の高揚のための広報（社内広報紙のコラムに連載など）
- ⑫ 親会社からの受注対応と労働時間管理の難しさ

群馬衛生管理者協議会への加入希望者は、当センターへご照会ください。（会費は無料）

3 群馬県専属産業医会について

群馬県専属産業医会は職域における専属産業医の方の集まりで、研修や情報交換を通して産業保健活動の充実を図ることを目的として平成10年9月に設立されたもので、会員は10名程度（異動等により出入りがあります）で当センターに事務局を置いております。（会費は無料）年に1、2回程度研修・情報交換会を開催し、その時々課題等をテーマとしています。

次回開催は、1月27日（火）午後2時から当センターで開催予定で、テーマは「雇用の多様化に伴う産業医の業務」で派遣労働者の健診義務（定期健診、特殊健診）は派遣元、それとも派遣先か、また、安全衛生配慮義務等を取り上げています。専属産業医会への入会希望者は当センターへご照会下さい。

4 当センターで実施の産業保健セミナー（1月～2月予定）のご案内

（1）「健康診断診断結果の保健指導（運動指導）」

開催日時 1月20日（火）14：00～16：00

開催場所 （財）東日本労働衛生センター
伊勢崎市戸谷塚町 629-1（tel 0270-32-7575）

講師 （財）東日本労働衛生センター スタッフ

内容 メタボリックシンドローム対象者及び予備群への運動習慣の必要性を考える。

（2）「健康診断診断結果の保健指導（運動指導）」

開催日時 2月18日（水）14：00～16：00

開催場所 （財）東日本労働衛生センター
伊勢崎市戸谷塚町 629-1（tel 0270-32-7575）

講師 （財）東日本労働衛生センター スタッフ

内容 メタボリックシンドローム対象者及び予備群への運動習慣の必要性を考える。

5 他機関で実施の研修会等のご案内

(1) 平成20年度 心の健康づくりシンポジウム(再掲)

開催日時 平成21年1月21日(水) 13:00～17:00

開催場所 銀座ブロッサム(中央会館)

東京都中央区銀座2-15-6 (tel 03-3432-7261)

シンポジウム テーマ「職場復帰支援のあり方と今後の方向性について
～最新の知見や研究成果を踏まえて～」

座長: 島 悟 氏(精神科医・京都文教大学臨床心理学部 教授)

シンポジスト1: 産業保健の立場から

岡田邦夫 氏(大阪ガス(株)健康開発センター 統括産業医)

シンポジスト2: 労働法の立場から

三柴丈典 氏(近畿大学法学部 准・弁護士)

シンポジスト3: 人事労務の立場から

高橋信雄 氏(JFEスチール(株)安全衛生部 部長)

特別講演 テーマ「病気等のブランクを克服できる企業活動」

演 者 今野浩一郎 氏(学習院大学経済学部 教授)

対 象 者 事業者、事業場内産業保健スタッフ、人事・労務管理者など

参 加 費 無 料

問合せ先 中央労働災害防止協会 健康確保推進部

メンタルヘルス推進センター

東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館6階

(tel 03-5452-3473 fax 03-3453-0730)

(2) アスベスト関連疾患研修会

開催日時 平成21年1月23日(金) 19:00～21:00

開催場所 群馬県庁 2階ビジターセンター

前橋市大手町1-1-1

内 容 「アスベスト関連疾患の鑑別と救済・労災補償申請」仮題

横須賀市立うわまち病院副院長 三浦溥太郎 氏

対 象 者 医師、医療機関職員、企業の衛生管理者、市町村・保健福祉事務所担当者など

問合せ先 群馬県健康福祉部保健予防課アスベスト対策係

(tel 027-226-2607 fax 027-223-7950)

6 お知らせ

当センターの情報誌「さんぽぐんま」の廃刊について

平成9年7月に創刊号を発行して以来、ご愛読頂いてきました当センターの情報誌「さんぽぐんま」は、経費削減等の関係で平成21年1月号を以って廃刊となる予定です。ご理解を賜りますとともに、長い間ご愛読を賜りましたことに心より感謝を申し上げます。

=====
<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp

=====
《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966